

INTEROP[®]

TOKYO | 8 - 12 JUNE, 2015

-Endless Possibilities-

ここから広がる“コネクテッド・エコノミー”

カンファレンス プログラムガイド

当 日 ガ イ ド

ネットワークとITの今をひもとく全32セッション

料金パッケージ

1日券

¥54,000 (税込)

2日券

¥86,400 (税込)

●会期 / 6月8日(月)~9日(火) ●会場 / 大手町サンケイプラザ

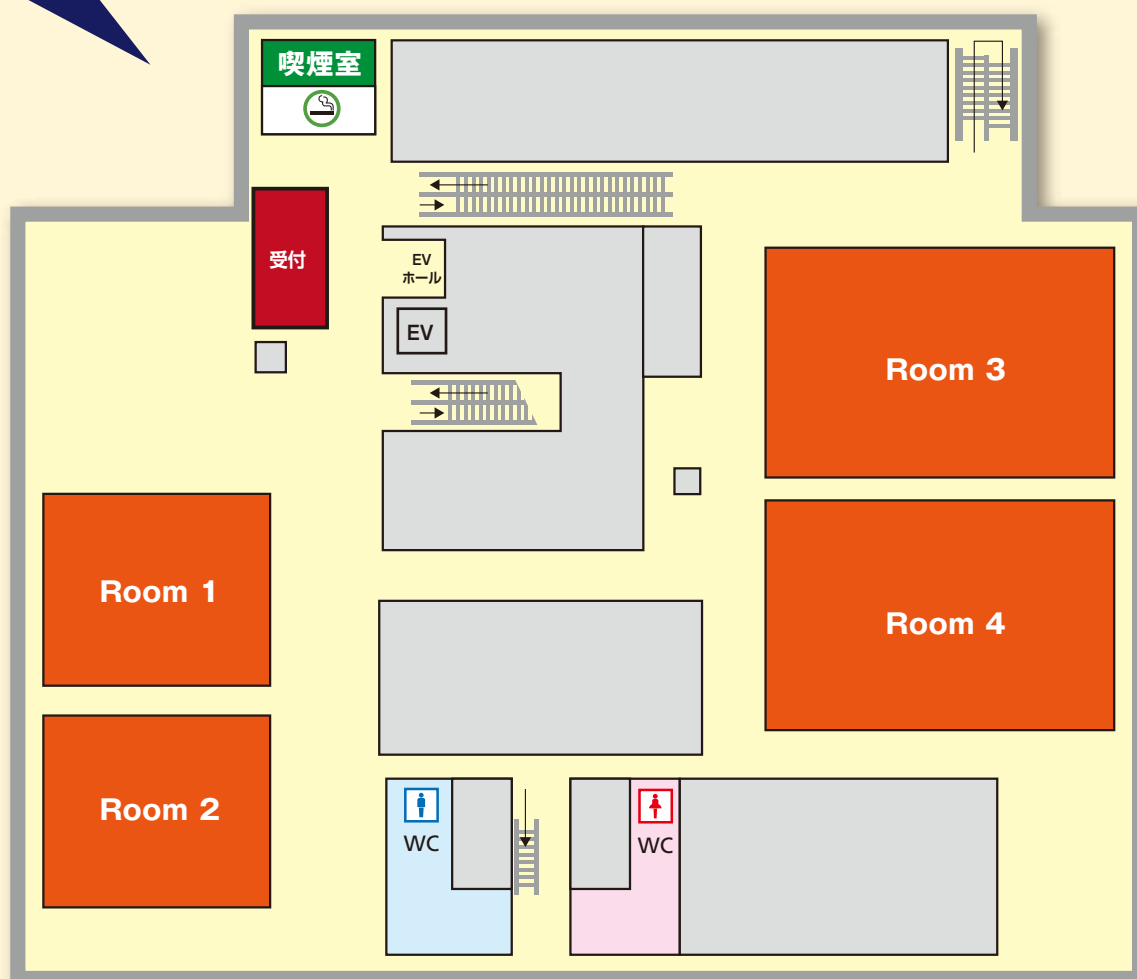
<http://www.interop.jp/>

インターロップ

検索

フロアMAP	》》》 02
Interop Tokyo 2015 プログラム委員会	》》》 03
カンファレンス スケジュール / 6月8日(月)	》》》 04
カンファレンス スケジュール / 6月9日(火)	》》》 05
カンファレンス概要	》》》 06
7月以降のイベントスケジュール	》》》 15

フロア MAP



プログラム委員会とは

日本のインターネット黎明期にスタートした Interop Tokyo は、常に最新のインターネット技術とそのビジネスへの活用策を議論し続けることで、市場の発展とエンジニアの育成に貢献してきました。

そして、このアカデミックな側面の象徴的な存在ともいえるのが「Interop カンファレンス」です。

産・学の両分野からインターネットテクノロジーを研究し、開発し、そしてビジネスへと活用するエキスパートを集め結成された当カンファレンスのプログラム委員会。市場動向を的確に捉えるプロの目が、いま習得すべき技術とその活かし方を厳選した32セッションにまとめました。

Interop Tokyo 2015 プログラム委員会

議長

江崎 浩 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授

副議長

門林 雄基 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授

ファウンダー

高橋 徹 株式会社インターネット戦略研究所 代表取締役会長

アドバイザー

冲中 秀夫 Techno-Visionary 代表 工学博士
近藤 邦昭 株式会社まほろば工房 代表取締役
砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
藤原 洋 株式会社ナノオプト・メディア 代表取締役社長

アドバイザー&エディター

本林 良太 日本電気株式会社 コーポレートマーケティング本部 マネージャー

プログラム委員

伊勢 幸一 テコラス株式会社 テコラス技術研究所 CTA 所長
榎本 瑞樹 日商エレクトロニクス株式会社 エンタープライズビジネス営業本部 副本部長
大江 将史 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台 天文データセンター 助教
小野寺 好広 シスコシステムズ合同会社 シニア・ソリューション・アーキテクト
クロサカ タツヤ 株式会社企 代表取締役
上月 勝博 KDDI 株式会社 商品統括本部 商品企画部 商品戦略3グループリーダー
高橋 正和 日本マイクロソフト株式会社 チーフセキュリティアドバイザー
田中 邦裕 さくらインターネット株式会社 代表取締役 社長
長谷川 順一 株式会社 Preferred Networks 取締役 最高戦略責任者
福智 道一 BBIX 株式会社 専務取締役 兼 COO
松田 貴成 インテル株式会社 社長室 社長補佐
満永 拓邦 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 早期警戒グループマネージャー
山下 達也 NTT コミュニケーションズ株式会社 技術開発部 部門長

(以上、五十音順敬称略 2015年4月30日現在)

※本ガイド記載情報は2015年6月1日時点のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

カンファレンス スケジュール

CONFERENCE SCHEDULE

6月8日 月 受付開始 9:45~

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 4
10:15 - 11:45	C1-1 リアルシーンにおけるビッグデータの利活用 チェア 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 スピーカー 三上 慎一 NTTコム オンラインマーケティング・ソリューション(株) 小間 基裕 ヤフー(株)	C4-1 MVNOの展望と課題 チェア クロサカ タツヤ (株) 企 スピーカー 藤岡 雅宣 エリクソン・ジャパン(株) 池田 博樹 フリービット(株)	C2-1 IoT:ビッグデータ・人工知能との融合が生み出す新ビジネス チェア 江崎 浩 東京大学大学院 スピーカー 光井 隆浩 (株)東芝 インダストリアルICTソリューション社 粕谷 貴司 (株)竹中工務店 渡邊 勝吉 富士通(株)	C3-1 NFVの今とこれから ~導入サイドから見るその将来像~ チェア 関谷 勇司 東京大学情報基盤センター スピーカー 臼井 健 (株)KDDI研究所 安田 歩 NTTコミュニケーションズ(株) 松嶋 聡 ソフトバンクモバイル(株)
12:50 - 14:20	C1-2 世界一のWi-Fi環境を作るための課題 チェア 大江 将史 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構国立天文台 スピーカー 伊藤 章 三井情報(株) 増澤 俊也 NTTブロードバンドプラットフォーム(株) 寺沢 孝二 総務省	C4-2 情報通信政策 アウトルック2015 チェア クロサカ タツヤ (株) 企 スピーカー 信朝 裕行 IT活用戦略推進官	C2-2 ビッグデータを活用したプラットフォームビジネスの運用と高度化 チェア 植松 幸生 NTTコミュニケーションズ(株) スピーカー 濱田 晃一 (株)ディー・エヌ・エー 湯澤 民浩 さくらインターネット(株) 田嶋 創 東京大学/NECOMAプロジェクト 太田 一樹 Treasure data inc.	C3-2 SDN再考 ~なぜ流行らないのか、なんで欲しかったのか~ チェア 高嶋 隆一 (株)DMM.comラボ スピーカー 伊藤 拓矢 ヤフー(株) 井上 一清 (株)IDCフロンティア
14:40 - 16:10	C1-3 x86による通信処理の限界をすべてみせます チェア 大江 将史 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構国立天文台 スピーカー 浅井 大史 東京大学 松谷 健史 慶應義塾大学	C3-3 CSIRT構築のすすめ チェア 満永 拓邦 (一社)JPCERTコーディネーションセンター スピーカー 北村 達也 大成建設(株) 茂岩 祐樹 (株)ディー・エヌ・エー 村上 晃 (一社)JPCERTコーディネーションセンター	C2-3 SDN革命: 今、ルーター・スイッチに何が起きているのか? チェア 藤田 智成 NTTソフトウェアインベションセンタ スピーカー 山下 薫 シスコシステムズ(同) 山口 正徳 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 本田 和久 Accton Technology Corporation	C4-3 IPv6 Hot Topics 2015 チェア 江崎 浩 東京大学大学院 スピーカー 黒河内 倫 グリー(株) 鶴 昭博 KDDI(株) 荻野 司 (一社)重要生活機器連携セキュリティ協議会
16:30 - 18:00	C3-4 迫りくる標的型攻撃の脅威と、その対策 チェア 満永 拓邦 (一社)JPCERTコーディネーションセンター スピーカー 名和 利男 (株)サイバーディフェンス研究所 高 元伸 ヤフー(株)	C4-4 Web標準最前線: 最新Web~ネットワーク連携 チェア 小松 健作 NTTコミュニケーションズ(株) スピーカー 本間 咲来 NTTコミュニケーションズ(株) 安田 絹子 Google(株) 河合 良哉 ヤマハ(株)	C1-4 インターネットトラフィック 最新状況 チェア 永見 健一 (株)インテック スピーカー 福田 健介 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 KDDI(株) 熊木 健二 KDDI(株) 福田 健平 NTTコミュニケーションズ(株)	C2-4 IoT:イノベーションから展望するビジネス新潮流 ~チップ・プラットフォーム・標準化から~ チェア 門林 雄基 奈良先端科学技術大学院大学 スピーカー 土岐 英秋 インテル(株) 山田 純 クアルコムジャパン(株) 赤塚 大典 (一社)Mozilla Japan

6月9日 火 受付開始 9:45～

Room 1	Room 2	Room 3	Room 4
<p>C3-5</p> <p>IoT:ビッグデータ処理とエッジ(Fog)コンピューティングの必然性</p> <p>チェア 中村 秀治 (株)三菱総合研究所</p> <p>スピーカー 遠藤 雄太 FogHorn Systems 吉本 武弘 東芝ソリューション(株) 桑津 浩太郎 (株)野村総合研究所</p>	<p>C4-5</p> <p>オープンデータが儲けさせる～オープンデータの波及効果～</p> <p>チェア クロサカ タツヤ (株)企</p> <p>スピーカー 庄司 昌彦 国際大学グローバルコミュニケーションセンター 角 勝 (同)フィラメント</p>	<p>C1-5</p> <p>DNSホットピック2015～DNS運用最新動向～</p> <p>チェア 松崎 吉伸 (株)インターネットイニシアティブ</p> <p>スピーカー 小坂 良太 NTTコミュニケーションズ(株) 安高 元気 楽天(株)</p>	<p>C2-5</p> <p>Software-Definedな世界におけるデータサービスのあるべき姿</p> <p>チェア 榎本 瑞樹 日商エレクトロニクス(株)</p> <p>スピーカー 小川 大地 日本ヒューレット・パッカド(株) 森次 達郎 ニュータニックス(同) 岡田 義一 ソリッドファイアー・ジャパン</p>
<p>C3-6</p> <p>多様化するデータセンター～当事者が語るこれまでとこれから～</p> <p>チェア 江崎 浩 東京大学大学院</p> <p>スピーカー 秦 豊和 NTTコミュニケーションズ(株) 石橋 雄司 (株)アット東京 石井 貞行 (株)インテック</p>	<p>C4-6</p> <p>パーソナルデータ:インターネットにおける利活用と保護</p> <p>スピーカー 菊池 浩明 明治大学 松本 泰 セコム(株) 佐藤 慶浩 日本ヒューレット・パッカド(株)</p>	<p>C1-6</p> <p>ディープラーニングが活す真のIoT</p> <p>チェア 田崎 創 東京大学</p> <p>スピーカー 岡野原 大輔 (株)Preferred Networks 今井 俊宏 シスコシステムズ(同)</p>	<p>C2-6</p> <p>クラウド時代の運用技術と運用ビジネス最新動向</p> <p>チェア 伊勢 幸一 テコラス(株)</p> <p>スピーカー 馬場 俊彰 (株)ハートビーツ 廣瀬 一海 アイレット(株)</p>
<p>C3-7</p> <p>“クラウドブローカー”が語る「ハイブリッドクラウド戦略」</p> <p>チェア 榎本 瑞樹 日商エレクトロニクス(株)</p> <p>スピーカー 成迫 剛志 (株)ビットアイル 井田 章仁 (株)NTTデータ 市田 真也 TIS(株)</p>	<p>C4-7</p> <p>表も裏も知らずには使えないインターネット～安全に利用するための必須知識～</p> <p>チェア 門林 雄基 奈良先端科学技術大学院大学</p> <p>スピーカー 林 達也 (株)レビタム 菅野 哲 NTTソフトウェア(株)</p>	<p>C1-7</p> <p>クラウド/データセンターネットワークの実態と課題</p> <p>チェア 福智 道一 BBIX(株)</p> <p>スピーカー 大野 理望 NTTコミュニケーションズ(株) 大久保 修一 さくらインターネット(株) 飯島 徹 日本マイクロソフト(株)</p>	<p>C2-7</p> <p>ネットワーク仮想化技術L3オーバレイの最前線</p> <p>チェア 大平 伸一 シスコシステムズ(同)</p> <p>スピーカー 中井 悦司 レッドハット(株) 進藤 資訓 ヴィエムウェア(株) 樋口 美奈子 Cisco Systems</p>
<p>C1-8</p> <p>業界トップ3ベンダーのモバイルワークスペース戦略、その一歩先へ</p> <p>チェア 榎本 瑞樹 日商エレクトロニクス(株)</p> <p>スピーカー 高添 修 日本マイクロソフト(株) 竹内 裕治 シトリックス・システムズ・ジャパン(株) 菊本 洋司 ヴィエムウェア(株)</p>	<p>C3-8</p> <p>ディスクの主役は交代間近? 押さえておきたいストレージ技術の近未来</p> <p>チェア 田中 邦裕 さくらインターネット(株)</p> <p>スピーカー 田口 栄治 インテル(株) 田中 陽一郎 (株)東芝</p>	<p>C2-8</p> <p>アンダーレイの作り方 2015</p> <p>チェア 本林 良太 日本電気(株)</p> <p>スピーカー 小宮 崇博 プロケードコミュニケーションシステムズ(株) 下川 洋平 シスコシステムズ(同) 久保田 浩康 ジュニパーネットワークス(株)</p>	<p>C4-8</p> <p>クラウドセキュリティガイドラインの国際化と事業者監査のこれから</p> <p>チェア 高橋 正和 日本マイクロソフト(株)</p> <p>スピーカー 河野 省二 (株)ディアティ</p>

10:15 - 11:45

12:50 - 14:20

14:40 - 16:10

16:30 - 18:00

C1-1

■ 情報システム

6月8日(月)10:15-11:45

リアルシーンにおけるビッグデータの利活用

Big Data at Work: Three Case Studies

講師

Chair/Speakers

Chair	砂原 秀樹	慶應義塾大学大学院
Speakers	三上 慎一 小間 基裕	NTTコム オンラインマーケティング・ソリューション(株) ヤフー(株)

概要

Overview

「ビッグデータを有効に活用できるか/否か」は、実際の場面でいよいよ重要な課題となってきました。とくに、「ビッグデータを利活用できている組織」と「そうでない組織」との格差が、広がってきています。そこで本セッションでは、「具体的な場面において、どのデータがどのように活用されているか」について、以下の実例を示しながら紹介します。

- (1)ビジネスシーンでの素早い経営判断(“爆速経営”)に際しての、ビッグデータの活用方法 [Yahoo! JAPAN]。
- (2)「テレビCM」と「実際の購買行動」に関する、コールセンター・代理店・ウェブといったタッチポイントから取得した、実データとの相関性の分析 [NTTコム オンラインマーケティング・ソリューション]。
- (3)「Twitterデータによる速報」と「公共データによる正しい情報の発信」の組み合わせの分析 [radiko・慶應大]。

受講対象者

Who Should Attend

・ビッグデータの活用を目指している企業のマネージャ・実データの活用をはじめようとしているデータアナリスト

C2-1

■ IoT (Internet of Things)

6月8日(月)10:15-11:45

IoT:ビッグデータ・人工知能との融合が生み出す新ビジネス

The Innovative Business: IoT, Big Data plus AI

講師

Chair/Speakers

Chair	江崎 浩	東京大学大学院
Speakers	光井 隆浩 粕谷 貴司 渡邊 勝吉	(株)東芝 インダストリアルICTソリューション社 (株)竹中工務店 富士通(株)

概要

Overview

IoT (Internet of Things)は、全世界の全産業を対象に、非常に大きなビジネス変革とビジネスチャンスをもたらすものと認識されています。単純な「通信基盤としてのIoT」ではなく、「IoTの基盤が生成する多様なデータの高度なデジタル処理」が融合することで、新しいシステム構造とビジネスモデルが登場しようとしています。これはついには国家戦略にも直結し、2015年の中国全国人民代表大会では、「インターネット・プラス」(互聯網+)という大方針が李克強首相から発表されています。しかし、「ぼんやりとしたビジネスケース」は議論されたり示されたりしていますが、残念ながらまだ「具体的なビジネスケース」の具現化は少ない状況です。本セッションでは、IoTと、ビッグデータ・人工知能技術を融合させることで、水平線上に頭を出そうとしている具体的なビジネスの領域を取り上げ、その実状を展望します。

受講対象者

Who Should Attend

・IoTがもたらす世界へのインパクトや可能性にご興味をお持ちの人・ビッグデータを利用したソリューションの設計、開発に関わる人・IoTと人工知能とのシナジーに興味のある人

C3-1

■ ネットワーク
■ システムインテグレーター

6月8日(月)10:15-11:45

NFVの今とこれから ～導入サイドから見るその将来像～

NFV Today and Tomorrow: Demand-side Perspectives

講師

Chair/Speakers

Chair	関谷 勇司	東京大学情報基盤センター
Speakers	臼井 健 安田 歩 松嶋 聡	(株)KDDI研究所 NTTコミュニケーションズ(株) ソフトバンクモバイル(株)

概要

Overview

NFV(Network Functions Virtualization)は、キャリアネットワークにおいて、高い費用対効果や運用保守性をもたらす技術コンセプトとして注目を集めています。このような期待感を背景に、現在では多数の関連製品が登場するようになりました。しかしこれらは導入サイドであるキャリアが思い描くシナリオを実現できるのでしょうか? 本セッションでは、パネルディスカッション形式で、「導入側であるキャリアが思い描くNFV導入シナリオ」と「現在利用可能なNFV関連技術」との間に存在するギャップを明らかにすることで、解決すべき課題を共有することを目指します。

受講対象者

Who Should Attend

・通信事業者でシステムの企画・開発・運用を行っている技術者・メーカー・SierなどでのWAN・LANの事業企画者・技術者・アプリケーション開発会社やSNSなどのプラットフォーム会社でシステムを開発・運用を行っている技術者

C4-1

■ ネットワーク
■ システムインテグレーター

6月8日(月)10:15-11:45

MVNOの展望と課題

MVNO : Trends and Challenges

講師

Chair/Speakers

Chair	クロサカ タツヤ	(株)企
Speakers	藤岡 雅宣 池田 博樹	エリクソン・ジャパン(株) フリービット(株)

概要

Overview

近年、日本におけるモバイル市場のなかでMVNOでの事業展開が注目されていますが、シェアなどの数値面から欧米などと比較すると、未だ普及期に入ったとは言いがたい状況にあると考えられます。こういったなか、さまざまな事業者がMVNOとして名乗りを上げ始めており、中でも先般発表された「カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社と株式会社フリービットとの戦略的業務提携」などにみられるように、従来の通信事業者のMVNO展開以外にも、新しい形で進出してくる事業者が現れ始めています。今回は、MVNOのサービスとテクノロジーとは密接な関係にあることから、

- ・コアネットワークなどを提供しているモバイルベンダー
- ・前述の新しい形でのMVNO展開を支える通信事業者
- ・ユーザーデバイスである携帯端末メーカー

の三つの視点で、あくまでもテクノロジー軸を外すことなくMVNOにおける最新トレンドとその課題について紹介します。

受講対象者

Who Should Attend

・MVNO事業について検討されている事業者の技術担当者、サービス開発担当者・MVNO事業をサポートするSierなどの技術担当者、企画担当者

C1-2

■ 情報システム

6月8日(月)12:50-14:20

世界一のWi-Fi環境を作るための課題

Challenges toward Top Quality Wi-Fi Networks

講師

Chair/Speakers

Chair	大江 将史	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台
Speakers	伊藤 章	三井情報(株)
	増澤 俊也	NTTブロードバンドプラットフォーム(株)
	寺沢 孝二	総務省

概要

Overview

Wi-Fi対応のスマートデバイスの普及により、国内外を問わず、観光地やレクリエーション施設においては、Wi-Fiを利用した「3G/4Gからのオフロード」「公衆インターネットアクセス」はもとより、「施設利用者のスマートデバイスに、リッチなサービスを提供する」試みもあります。一方で、このようなWi-Fiの積極的な活用に伴い、その求められる品質も高くなっています。しかし、安定した品質を提供するには課題もあります。たとえば、電波法令・インシデント・密集環境などです。Wi-Fiという手軽さ故のこうした問題が、サービス環境に与える影響を大きくしています。そこで、これらの現況に関する有識者とのオープンディスカッションを通じ、「ユーザー視点での満足度の高いWi-Fi環境」を実現するための知見と課題を共有します。

受講対象者

Who Should Attend

・ワイヤレスLAN技術に関する製品やソリューション、ビジネスに関わっている人・ワイヤレスLANに関するインフラの設計、構築に関わる人・今後、ワイヤレスLANの導入検討に関わる意思決定権者の人

C2-2■ ネットワーク
■ 情報システム

6月8日(月)12:50-14:20

ビッグデータを活用したプラットフォームビジネスの運用と高度化

Platform Businesses by Big Data: Operations and Sophistications

講師

Chair/Speakers

Chair	植松 幸生	NTTコミュニケーションズ(株)
Speakers	濱田 晃一	(株)ディー・エヌ・エー
	湯澤 民浩	さくらインターネット(株)
	田崎 創	東京大学/NECOMAプロジェクト
	太田 一樹	Treasure data inc.

概要

Overview

ここ数年、ビッグデータブームも安定期に入り、「具体的にビジネスにどう生かすのか?」という本質的な議論がなされています。

本セッションでは、ビッグデータを活用したプラットフォームビジネスを具体的に展開している各社から、「事例」を紹介するとともに、「共通の課題」と「今後の展望」についてディスカッションします。

受講対象者

Who Should Attend

・ビッグデータの活用にご興味をお持ちの方・ITインフラの運用者

C3-2

■ 情報システム

6月8日(月)12:50-14:20

**SDN再考
～なぜ流行らないのか、なんで欲しかったのか～**

SDN Revisited: Expectations and Realities

講師

Chair/Speakers

Chair	高嶋 隆一	(株)DMM.comラボ
Speakers	伊藤 拓矢	ヤフー(株)
	井上 一清	(株)IDCフロンティア

概要

Overview

SDNという言葉が様々なメディアで広く扱われる様になって数年が経過し、SDN対応を謳う製品やソリューションも、様々な会社から提供されてきています。しかし2015年現在でも、「すでにSDNを導入し活用している」「ネットワークを運用するにはSDNが必須である」という状況には程遠いのが実情です。本セッションでは、いま一度「SDN」として分類されている製品やサービス、ソリューションを整理するとともに、

- ・SDNの導入で期待される効果は何か
 - ・SDNを導入してみたてどう変わったか
 - ・SDNを導入する事の障壁となっているものは何なのか
- を、ユーザ企業の視点から議論します。

受講対象者

Who Should Attend

・SDNを活用したソリューションベンダー・SDNソリューションを提供する事業企画、営業・SDN導入を検討しているインフラエンジニア

C4-2

■ ネットワーク

6月8日(月)12:50-14:20

情報通信政策アウトルック2015

ICT Policy Outlook 2015

講師

Chair/Speaker

Chair	クロサカ タツヤ	(株)企
Speakers	信朝 裕行	IT利活用戦略推進官

概要

Overview

2014年6月に改定された『世界最先端IT国家創造宣言』によって、その前年に閣議決定された安倍政権のIT戦略は、通信産業を主軸にさらなる具体化が図られました。しかし、

- ・2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を強く意識した、インフラ整備やセキュリティの取り組み
- ・通常国会での改正が見込まれる、パーソナルデータやビッグデータの利活用への見直し
- ・21世紀の日本社会にとって不可欠な課題である、社会保障やヘルスケア分野での進展など、検討課題は山積しています。こうした状況を踏まえ、「日本政府のIT戦略のアップデート」と、「政策の現場で展開されている討議の実態」について、政策の当事者から明らかにします。

受講対象者

Who Should Attend

・通信事業者(クラウド等の付加価値分野の企画担当、地方自治体向けの営業等)、ネットビジネス関係者、地方自治体関係者、他

C1-3

■ ネットワーク

6月8日(月)14:40-16:10

x86による通信処理の限界をすべてみせます

Revealed: x86 Maximum Network Performance

講師

Chair/Speakers

Chair 大江 将史 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

Speakers 浅井 大史 東京大学
松谷 健史 慶應義塾大学

概要

Overview

本セッションでは、アプリケーションやルーターなどの通信処理をx86アーキテクチャで実現するうえで、生じる性能上のボトルネックの原因を理解し、他より秀でた利活用を実現する手法を知るところを目的にします。進化を続けるx86アーキテクチャは、費用対効果の高い通信処理ハードウェアになりつつあります。この背景には、Intel社のCPUアーキテクチャの進化、クラウド資源としてのx86の普及、40GbE/10GbEのNICやスイッチングハブの廉価化などがあります。このような背景において、x86ハードウェアに基づいた高性能な処理環境が容易に構築できるようになりました。たとえば、100Gbpsラインレートフォワーディング、50万経路を超える経路のハンドリング、100Gbps広帯域アプリケーションなどの実装も不可能ではありません。このセッションでは、抜きでた利活用をするうえで必要となる通信処理のボトルネックとその対策を実装やベンチマーク結果を交えて解説し、汎用ハードウェアで費用対効果の高い利活用を実現するための手法を説明します。

受講対象者

Who Should Attend

・仮想化基盤やSDN/NFVの設計・構築者・データセンタのシステム構築を行う開発企画担当者
・ネットワーク機器の選定・運用を行う担当者・ネットワーク機器に関するマーケティングの企画担当者

C2-3

■ ネットワーク

6月8日(月)14:40-16:10

SDN革命: 今、ルータ・スイッチに何が起きているのか?

SDN Revolution: Evolutions of Routers and Switches

講師

Chair/Speakers

Chair 藤田 智成 NTTソフトウェアイノベーションセンター

Speakers 山下 薫 シスコシステムズ(同)
山口 正徳 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
本田 和久 Accton Technology Corporation

概要

Overview

いま、クラウドプラットフォームの時代は終わり、ルーティング・スイッチング制御のソフトウェア・管理ソフトウェアは、SDNをきっかけに新たな時代を迎えつつあると言えるでしょう。この流れは、「ユーザによるAPIを通じた機能の自由なカスタマイズ・追加」や「オープンソース化時代の到来」などを予感させます。

昨年に引き続き、今回は

- ・オリジナルのASICを搭載する製品
- ・ハードウェアのオープン化によるホワイトボックス製品
- ・ネットワークの仮想化から生まれた製品

を比較するとともに、「製品の方向性やオープン化の流れはユーザに何をもたらすか?」を検証します。これまでのネットワーク設計の常識が変わろうとしている“今”を本セッションで明らかにし、ネットワークテクノロジーの最前線を俯瞰します。

受講対象者

Who Should Attend

・ルータ、スイッチでネットワークの構築、運用、保守に関わる人・ルータやスイッチのテクノロジーに関わるエンジニア、マーケティングの人・今後のネットワークインフラへの投資、デザインに関わるCTO、CIOの人

C3-3

■ 情報システム
■ セキュリティ

6月8日(月)14:40-16:10

CSIRT構築のすすめ

Building CSIRT by Example

講師

Chair/Speakers

Chair 満永 拓邦 (一社)JPCERTコーディネーションセンター

Speakers 北村 達也 大成建設(株)
茂岩 祐樹 (株)ディー・エヌ・エー
村上 晃 (一社)JPCERTコーディネーションセンター

概要

Overview

近年、サイバー攻撃によるリスクは、各組織にとって見過ごせないものとなっています。そうした中、セキュリティ事故が発生した際の早期発見と被害の最小化を目的として、「組織CSIRT」を設ける組織が増加しています(CSIRT: Computer Security Incident Response Team)。しかし、CSIRTの構築・運用には「正しい教科書」というものはありません。このため、組織内CSIRTに必要な要件や機能が分かりにくく、構築や運用にあたって様々な課題を抱えている方は少なくないでしょう。本セッションでは、実際にCSIRTを運用されている企業の方から、それぞれの企業におけるCSIRTの構築・運用の事例を紹介します。

受講対象者

Who Should Attend

・CSIRTの構築を考えている方

C4-3

■ ネットワーク
■ セキュリティ
■ IoT(Internet of Things)

6月8日(月)14:40-16:10

IPv6 Hot Topics 2015

IPv6 Hot Topics 2015

講師

Chair/Speakers

Chair 江崎 浩 東京大学大学院

Speakers 黒河内 倫 グリー(株)
鶴 昭博 KDDI(株)
荻野 司 (一社)重要生活機器連携セキュリティ協議会

概要

Overview

我が国におけるIPv6の普及は、NGN網を用いたIPv6サービスの精力的展開によって、有線網に関しては順調に進行しており、世界からも高い評価を得ています。しかし、これからのIoT時代の主役となるモバイル網へのIPv6の普及は、さまざまな原因により迅速には進行していないのが実状です。また、IoTの普及は、家電機器を含むすべてのデジタル機器をTCP/IP技術を用いて相互接続するものであり、十分なセキュリティ・プライバシーへの配慮が必須となります。そこで、本セッションでは、「IoTを実現するために必須となるIPv6のモバイル環境と家庭環境への展開に向けた実状と課題」を議論し、今後を展望します。

受講対象者

Who Should Attend

・モバイル網のIPv6化に興味のある方・IoTやそのセキュリティに興味のある方

C1-4

■ ネットワーク
■ システムインテグレーター

6月8日(月)16:30-18:00

インターネットトラフィック最新状況

Internet Traffic 2015

講師

Chair/Speakers

Chair	永見 健一	(株)インテック
Speakers	福田 健介	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
	熊木 健二	KDDI(株)
	福田 健平	NTTコミュニケーションズ(株)

概要

Overview

日本ではFTTHに代表されるブロードバンドインターネットが普及し、企業だけでなく一般家庭においても、インターネットは欠かせない情報通信インフラとなっています。また、スマートフォンの普及により、モバイルユーザのインターネット利用も増大してきており、利用場所、利用アプリケーションの変化によりトラフィック量も変化してきています。モバイルユーザのトラフィック増加に対処するため、公衆無線LANの利用も拡大しています。日々のトラフィックパターンは、人の行動パターンによる定常的なトラフィックパターンだけではなく、ゲーム公開やOS更新によるソフトウェアダウンロード等のイベントトラフィックやOTT(Over The Top)のトラフィックも増えており、ネットワーク設計を困難にしています。本セッションでは、このような変わりつつある現状のインターネットのトラフィックパターンやアプリケーションを、(1)国内の固定トラフィック (2)国内のモバイルトラフィック (3)海外のトラフィック について紹介します。

受講対象者

Who Should Attend

・ネットワークの設計・運用のエンジニア・メーカ、インテグレータのエンジニア

C2-4

■ IoT(Internet of Things)

6月8日(月)16:30-18:00

**IoT:イノベーションから展望するビジネス新潮流
～チップ・プラットフォーム・標準化から～**

IoT Business Outlook through Chips, Platforms, and Standards

講師

Chair/Speakers

Chair	門林 雄基	奈良先端科学技術大学院大学
Speakers	土岐 英秋	インテル(株)
	山田 純	クアルコムジャパン(株)
	赤塚 大典	(一社)Mozilla Japan

概要

Overview

IoT(Internet of Things)は構想段階を経て、対応チップやプロトコルが実用化されつつあり、大きなビジネスチャンスにつながることが確実視されています。本セッションでは、「IoTイノベーションを具現化するチップやプロトコル」に注目し、その「技術動向」を紹介するとともに、「IoT対応コンポーネントの組み合わせがもたらすビジネス領域での大きな可能性」について、ディスカッションを行います。また、IoT領域において乱戦状態にある「標準化活動」についても言及し、「イノベータからみたIoT標準との関わり方」についてもパネルディスカッションを行います。

受講対象者

Who Should Attend

・IoTがもたらす世界へのインパクトや可能性にご興味をお持ちの方・ビッグデータを利用したソリューションの設計、開発に関わる方・IoTでの標準化、製品化状況に興味のある方

C3-4

■ セキュリティ

6月8日(月)16:30-18:00

迫りくる標的型攻撃の脅威と、その対策

Advanced Persistent Threat: Realities and Countermeasures

講師

Chair/Speakers

Chair	満永 拓邦	(一社)JPCERTコーディネーションセンター
Speakers	名和 利男	(株)サイバーディフェンス研究所
	高 元伸	ヤフー(株)

概要

Overview

特定の組織や部門を狙う「標的型攻撃」がメディアを騒がせています。標的型攻撃は、その名の通り「限定的な攻撃対象に向けて巧妙な攻撃」を仕掛けてくるため、「不特定多数を狙ったばら撒き型攻撃」とは異なった対策が必要となります。従来の「入口対策」「出口対策」に加えて「内部対策」も効果的であり、また被害を最小限に抑えるためには、攻撃者の手口を把握することも重要です。

本セッションでは、

- ・標的型攻撃の特徴
 - ・最近の事例
 - ・企業が取り組むべき対策
- について紹介します。

受講対象者

Who Should Attend

・企業のシステム管理者

C4-4

■ ネットワーク

6月8日(月)16:30-18:00

**Web標準最前線:
最新Web～ネットワーク連携**

Web Standards Today: Web meets Networks

講師

Chair/Speakers

Chair	小松 健作	NTTコミュニケーションズ(株)
Speakers	本間 咲来	NTTコミュニケーションズ(株)
	安田 絹子	Google(株)
	河合 良哉	ヤマハ(株)

概要

Overview

Webサービスの利用シーンが、「Webページの提供」から「リアルタイムコミュニケーション」へと進化するのに伴い、Webプロトコルは、従来のHTTP/1.1から、WebSocket、WebRTC、HTTP2など、双方向性・高速性をサポートするものへと変わりつつあります。また最近では、「オフラインも含め多様な通信環境に対応するServiceWorker」や、「宅内ネットワークとの連携を目指すPresentation API」など、ネットワークとのつながりは深まる一方です。さらに、Web MIDI APIなど、リアルタイム性が要求される機能も登場しています。本セッションでは、W3Cにおいて、これらの技術仕様に最前線で取り組むプロフェッショナルが、Webとネットワークとの連携についてパネルディスカッションを行います。

受講対象者

Who Should Attend

・Web開発者、ネットワークエンジニア、サーバーエンジニア

C1-5

■ ネットワーク
■ システムインテグレーター

6月9日(火)10:15-11:45

DNSホットピック2015 ～DNS運用最新動向～

Frontlines of DNS Operation 2015

講師

Chair/Speakers

Chair 松崎 吉伸 (株)インターネットイニシアティブ

Speakers 小坂 良太 NTTコミュニケーションズ(株)
安高 元気 楽天(株)

概要

Overview

DNSは「IPアドレス」や「メールの配送先」など、ホスト名に対応するさまざまな情報を検索するために利用されています。世界には多様なインターネットへの接続環境がありますが、そのほとんどにおいて「DNSが利用可能である」と期待できます。それゆえ、インターネットに接続するほすべての実装は、DNSを「標準の名前解決機能」として採用しています。「利用者が使うアプリケーションをはじめ、「サーバ間の通信」や「通信制御」など、インターネットの幅広い分野でDNSが利用されているのです。DNSは緩やかに連係した分散システムであり、ゾーン情報を保持する「権威サーバ」、名前解決機能を提供する「リゾルバ」、問い合わせを中継する「フォワード」、問い合わせの発端となる「クライアントやアプリケーション」など、さまざまな機器、ソフトウェアが複合的に関わっています。安定的な運用のためには、それぞれが適切に管理、運用されていることが必要であり、また状況の変化に対応するためにも、現状の把握と運用の進化は重要です。このセッションでは、「ISPや事業者の運用するDNSの最新状況」「DNSを取り巻くセキュリティや環境変化」などを報告するとともに、「今後の課題」などを整理します。

受講対象者

Who Should Attend

・ネットワークの構築担当者・ネットワーク機器の選定・運用を行う担当者・ネットワーク機器に関するマーケティングの企画担当者

C2-5

■ ネットワーク
■ システムインテグレーター

6月9日(火)10:15-11:45

Software-Definedな世界における データサービスのあるべき姿

Storage Services in the Software-Defined World

講師

Chair/Speakers

Chair 榎本 瑞樹 日商エレクトロニクス(株)

Speakers 小川 大地 日本ビューレット・パッカード(株)
森次 達郎 ニュータニックス(同)
岡田 義一 ソリッドファイアー・ジャパン

概要

Overview

ビジネス環境の変化にともない、ITインフラにおけるアジリティの重要性が増している現状、「サーバ・ネットワーク分野のSoftware-Defined化」から、「ストレージ分野におけるSoftware-Defined Storage(SDS)化」へと焦点が移行しつつあります。この、「一貫したデータサービス機能を提供しつつ、下位のハードウェアを抽象化する」という新しいアーキテクチャモデルが、レガシーなデータサービスにどんな変化を起こすのか。本セッションでは、Software-Defined Storage技術を中心に、
・フラッシュ
・スケールアウト
・QoS
・オープンソース連携
など、ストレージの技術動向を徹底解説するとともに、SDSにおける課題と期待をパネル形式で議論します。

受講対象者

Who Should Attend

・プライベートクラウド基盤構築に興味のある企業IT管理者、運用者、システムインテグレーター

C3-5

■ IoT(Internet of Things)

6月9日(火)10:15-11:45

IoT:ビッグデータ処理と エッジ(Fog)コンピューティングの必然性

IoT Enablers: Big Data and Edge (Fog) Computing

講師

Chair/Speakers

Chair 中村 秀治 (株)三菱総合研究所

Speakers 遠藤 雄太 FogHorn Systems
吉本 武弘 東芝ソリューション(株)
桑津 浩太郎 (株)野村総合研究所

概要

Overview

「Internet of Things (IoT)」は、世界を変えていくのでしょうか?IoTデバイスの台数は急激に伸び、その経済インパクトが驚異的であることは間違いありません。デバイス数が増えることから、単純にデータ量は100倍とか1,000倍などといった規模に膨らみ、そのデータがクラウドに集中することで、処理が追いつかなくなってしまう問題があります。これを解決するためには、「モノとモノとの通信」にアーキテクチャ(基本設計)が必要不可欠です。その一部として、クラウドとデバイスの間にビッグデータの分散処理環境を置くことで、大量のデータを事前にさばき、クラウドへの一極集中を防ぐことが可能なエッジ(Fog)コンピューティングが注目されています。本セッションでは、エッジ(Fog)コンピューティングを使った具体的な技術を事例とともにパネリストがディスカッションします。これを解決するためには、「モノとモノとの通信」にアーキテクチャ(基本設計)が必要不可欠です。その一部として、クラウドとデバイスの間にビッグデータの分散処理環境を置くことで、大量のデータを事前にさばき、クラウドへの一極集中を防ぐことが可能なエッジ(Fog)コンピューティングが注目されています。本セッションでは、エッジ(Fog)コンピューティングを使った具体的な技術を事例とともにパネリストがディスカッションします。

受講対象者

Who Should Attend

・IoTがもたらす世界へのインパクトや可能性にご興味をお持ちの方・ビッグデータを利用したソリューションの設計、開発に関わる方・ネットワーク化することで得られる情報に付加価値を見いだす事に関わる方

C4-5

■ ネットワーク

6月9日(火)10:15-11:45

オープンデータが儲けさせる ～オープンデータの波及効果～

Business Innovation through Open Data

講師

Chair/Speaker

Chair クロサカ タツヤ (株)企

Speaker 庄司 昌彦 国際大学グローバルコミュニケーションセンター
角 勝 (同)フィラメント

概要

Overview

オープンデータに関する取り組みは、近年全国的な広がりを見せています。いまや「ハッカソン」や「アイデアソン」が毎月どこかで開催されているほどの盛り上がりです。また、市民を巻き込んだ取り組みは「シビルテック」とも称されるオープンデータの利活用から、地域の課題解決や起業を促す「イノベーションのゆりかご」としても注目されつつあります。

受講対象者

Who Should Attend

・通信事業者(クラウドやイノベーション創発等の付加価値分野の企画担当、地方自治体向けの営業等)、ネットビジネス関係者、地方自治体関係者、他

C1-6

IoT (Internet of Things)

6月9日(火)12:50-14:20

ディープラーニングが活す真のIoT

Unleashing the Power of IoT through Deep Learning

講師

Chair/Speakers

Chair 田崎 創 東京大学

Speakers 岡野原 大輔 (株)Preferred Networks
今井 俊宏 シスコシステムズ(向)

概要

Overview

近年のディープラーニング(深層学習)は急速な進化を遂げ、認識・理解・予測・判断・計画など多くのタスクを実現できるようになってきました。従来の「機械学習」で、判断・決定を「人間」が請け負っていた部分さえも、いまや「機械」が代行するのです。このディープラーニングをIoTに埋め込むことで、製造業・交通・バイオヘルスケアの世界が大きく変わろうとしています。近い将来には、ネットワークでつながりあったモノが協調しあって学習しあい、総じて複雑な機能を実現する世界が到来すると考えられます。またそのような世界では、数十億に上るであろうデバイス・人・プロセス・データをサポートできる、セキュアでオープンなネットワークインフラストラクチャを提供する必要があります。本講演では、「ディープラーニングの最新の成果」を紹介するとともに、「それらがIoTの世界でどのように活かされるのか」について議論します。

受講対象者

Who Should Attend

・ディープラーニングを活用した新たなイノベーションにご興味をお持ちの方・IoTに関する最新の動向やビジネスの可能性に関心をお持ちの方・ビッグデータを利用したソリューションの設計、開発等に関わる方・企業や通信事業者のネットワーク計画、設計、運用等に関わる方・ネットワーク関連製品の企画、営業、マーケティングに関わる方

C2-6情報システム
システムインテグレーター

6月9日(火)12:50-14:20

**クラウド時代の運用技術と
運用ビジネス最新動向**

The Technology and Business of Cloud-based Operations

講師

Chair/Speakers

Chair 伊勢 幸一 テコラス(株)

Speakers 馬場 俊彰 (株)ハートビーツ
廣瀬 一海 アイレット(株)

概要

Overview

最初に「クラウドサービスが活用できないか?」を検討するクラウドファースト志向が、情報基盤の設計に多く取り入れられるようになりました。しかし、一般的にクラウドサービス事業者は、「コンポーネントのデザインパターン」や「運用ガイドライン」を提供してはいますが、「実際のシステム構築」や「運用作業」を請負う事はしません。また、従来おもにオンプレミスの情報基盤を提供してきたメーカーやSierは、「自社取り扱い製品による構築運用保守」はサポートしますが、「他社のパブリッククラウドサービス上でのシステム構築や運用保守」を請負う体制は整備されていません。今、構築や運用において、「クラウド利用者」と「提供者」間の隙間を埋める「クラウドインテグレーター(CI)」の存在が注目されています。CIは「クラウドリソースを最適化してシステムを構築」する役割だけではなく、「顧客の利用状態に伴うチューニング」「拡張や機能追加などの運用」までも実施しています。クラウドサービスを情報基盤とし、その構築運用を提供するこうしたビジネスは、ますます拡大する方向にあります。このセッションでは、クラウドのコンサルティング・システム開発・運用・保守において、国内最高クラスの知見を有する事業者とともに、様々なクラウドサービスを基盤とした実際のシステム構築と運用から得たノウハウやビジネスに基づいて、最新の動向を議論します。

受講対象者

Who Should Attend

・クラウドサービス・プロバイダ・クラウドサービス利用者・情報基盤運用担当者・マネージドサービスプロバイダ・IT機器メーカーおよびSier

C3-6

ネットワーク

6月9日(火)12:50-14:20

**多様化するデータセンター
～当事者が語るこれまでとこれから～**

Data Centers Diversified: Past, Present and Future

講師

Chair/Speakers

Chair 江崎 浩 東京大学大学院

Speakers 秦 豊和 NTTコミュニケーションズ(株)
石橋 雄司 (株)アット東京
石井 貞行 (株)インテック

概要

Overview

XaaSに代表されるコンピューティングサービスの利活用が進み、付加価値に限界のある従来のコロケーション/ハウジングを提供するデータセンタービジネスは、かつてのような成長が望めなくなりつつあります。その一方で、「通信やSIといった「本業」との相乗効果を狙う武器」として、あるいは、「垂直統合のキーパーツ」としてなど、データセンターの位置付けは多様化が進んでいます。この流れに合わせた、従来にない実装のデータセンターも登場しています。本セッションでは、このような新しい文脈でデータセンターを運用する各社の生存戦略を探り、変容するデータセンターの今と近未来を概観します。

受講対象者

Who Should Attend

・データセンター関連サービスの営業・企画の担当者・一般企業等でデータセンター・クラウド選定の担当者/意思決定者・データセンターの構築や運用に携わるエンジニア

C4-6情報システム
セキュリティ

6月9日(火)12:50-14:20

**パーソナルデータ:
インターネットにおける利活用と保護**

Personal Data: Its Protection and Use in the Internet

講師

Speakers

Speakers 菊池 浩明 明治大学
松本 泰 セコム(株)
佐藤 慶浩 日本ヒューレット・パッカード(株)

概要

Overview

インターネットサービス事業者の多くは、個人情報ないしパーソナルデータを扱う事業者です。したがって法制度の動向に関わらず、ビジネスを考える上でも、事業者としての責任を果たす上でも、パーソナルデータの利活用と保護に関して、しっかりとした考えを持つ必要があります。内閣から「制度見直し方針」で示唆された法改正の方向性などは、パーソナルデータの利活用を躊躇する要因となっている「ルールの曖昧さ」を今後解消し、その他にも「同意の取り方の標準化」など、ビジネスを進めやすい環境を整備していくことでしょう。その一方で、個人情報保護法の改正などにより、個人情報の範囲が広がる可能性も高く、場合によっては、サービスの現場にとつての負担が増えかねません。そこで本セッションでは、「法改正で導入されようとしている新しい保護の内容」について解説し、「ネットワークサービス業者にとって、どのような課題があるのか」を明らかにします。

受講対象者

Who Should Attend

・企業/自治体においてデータ利活用を担当している方・企業/自治体において情報セキュリティを担当している方

C1-7

■ 情報システム

6月9日(火)14:40-16:10

クラウド/データセンターネットワークの実態と課題

Cloud/Data Center Networks: Realities and Challenges

講師

Chair/Speakers

Chair	福智 道一	BBIX(株)
Speakers	大野 理望	NTTコミュニケーションズ(株)
	大久保 修一	さくらインターネット(株)
	飯島 徹	日本マイクロソフト(株)

概要

Overview

近年、[SNSなどのプラットフォーム事業者]と[SAP(Service Application Provider)が利用するクラウド事業者]とのトラフィックが急増しています。くわえて、従来の「繋がればそれで良かった」インターネットの時代からは想定できないようなネットワークの品質が、アプリケーション側から要求されています。一方、一般企業などにおいてもプライベートクラウドとパブリッククラウドを併用するケースも多く見受けられ、最近では「いわゆるハイブリッドクラウドとしてソリューション展開するSler」や、「Inter-Cloudネットワークをサービス提供する事業者」も現れています。実際、昨年のInterop Tokyo 2014のShowNetにおいてもInter-Cloudは実験されており、このような「複数のクラウド/データセンターサービスを跨って活用されるケース」は、今後さらに多くなると考えられています。このような中、それぞれのクラウド/データセンターネットワークの設計や運用手法などは多様化し、それらの特徴を理解せずに複数/異事業者のサービスを利用すると、想定外の事象に出くわすことも考えられる状況となっています。本セッションでは、日本と海外を代表するクラウド事業者のコアエンジニアから、「クラウドを利用する上で理解してほしい特徴」や「知っているのとメリットがある事柄」などを、それぞれの立場から議論展開します。

受講対象者

Who Should Attend

・クラウドサービスを自社サービスなどで利用している、あるいはこれから利用を検討しているサービス事業者のネットワーク/アプリケーションエンジニア・一般企業における情報システム部門でハイブリッドクラウドなどを利用検討している担当エンジニア

C2-7

■ ネットワーク

6月9日(火)14:40-16:10

ネットワーク仮想化技術 L3オーバーレイの最前線

Network Virtualization Technology in Depth: Layer-3 Overlay

講師

Chair/Speakers

Chair	大平 伸一	シスコシステムズ(同)
Speakers	中井 悦司	レッドハット(株)
	進藤 資訓	ヴェイムウェア(株)
	樋口 美奈子	Cisco Systems

概要

Overview

近年、ネットワーク仮想化やマルチテナントなどのニーズにより、データセンターやクラウドの実環境において、L3オーバーレイを本格検討するケースが増えてきました。なかでも、「すぐに実運用で利用できる」「マルチベンダーで相互接続できる」という点からは、多くのIT担当者がVXLANに期待を持っています。また、昨年Interop 2014のShowNetでは、マルチベンダーの製品を組み合わせた、VXLANのマルチキャストベースでの相互接続に成功しています。そこで本セッションでは、「各社のパッチャルオーバーレイソリューションの最新動向」、「ネットワーク仮想化と自動化の関係」、「マルチベンダーでの相互接続性の考慮点」、「各社が機能強化に取り組むVXLAN Unicast modeの最新情報」や、さらに「実運用者がどのように便利になり、どのように活用できるのか」について、各社のエキスパートを交えてパネル形式で解説します。

受講対象者

Who Should Attend

・企業のデータセンターネットワークの構築および運用に携わる情報システム部門のマネージャまたはリーダー・データセンターの自動運用ソリューションなどを検討されているクラウド事業者または企業のインフラ開発企画担当者

C3-7

■ 情報システム
■ システムインテグレーター

6月9日(火)14:40-16:10

“クラウドブローカー”が語る「ハイブリッドクラウド戦略」

Strategizing Hybrid Cloud with Cloud Brokers

講師

Chair/Speakers

Chair	榎本 瑞樹	日商エレクトロニクス(株)
Speakers	成迫 剛志	(株)ビットアイ
	井田 章仁	(株)NTTデータ
	市田 真也	TIS(株)

概要

Overview

クラウドサービスを提供する事業者の優劣がついていく中で、「クラウドブローカー」が注目を浴びています。自社でクラウドサービスを提供するのではなく、「クラウドサービス事業者のサービスをお客様の多様なシステム要件に合わせて仲介する」役割を展開している事業者です。本セッションでは、競争力のあるクラウドサービスを解りつくしたクラウドブローカーの視点から、「クラウドファースト」の潮流を捉え、エンタープライズ企業における「ハイブリッドクラウド戦略」の課題と将来像を明らかにします。

受講対象者

Who Should Attend

・企業IT管理者、運用者、システムインテグレータ

C4-7

■ 情報システム
■ セキュリティ

6月9日(火)14:40-16:10

表も裏も知らずには使えないインターネット ~安全に利用するための必須知識~

Know Your Internet: Essential Knowledge for Safer Driving

講師

Chair/Speakers

Chair	門林 雄基	奈良先端科学技術大学院大学
Speakers	林 達也	(株)レピダム
	菅野 哲	NTTソフトウェア(株)

概要

Overview

インターネットにおける暗号通信は電子取引の基礎であり、また企業の機密保持などにとっても、なくてはならないものとなっています。しかし、2013年以降の一連の報道により、「インターネットの安全性への信頼が大きく揺らいだ」と考える技術者も少なくないのではないのでしょうか。この状況は、2014、2015年においても刻々と変化し、知るべき知識のギャップが拡大し続けている感否めません。これらはすでにビジネスリスクの領域に至っており、脆弱性が指摘されがちなスマートフォンの普及も相まって、過去の常識は通用しなくなってきました。本セッションでは、「もはや完成され、注目する必要がなくなった」と思われがちな「インターネット暗号通信における知られざる攻防の今」にスポットライトをあて、「インターネットを安全に使うための必須知識」および「これらの最新知識を手に入れるための国際的動向への関わり方」について紹介します。

受講対象者

Who Should Attend

・企業・自治体においてeコマース・電子政府を担当している方・企業・自治体においてプライバシーや機微情報を扱っている方

C1-8

■ 情報システム
■ システムインテグレーター

6月9日(火)16:30-18:00

業界トップ3ベンダーの モバイルワークスペース戦略、その一歩先へ

Mobile Workspace Strategies:
Enabling Technologies and Future Outlook

講師

Chair/Speakers

Chair	榎本 瑞樹	日商エレクトロニクス(株)
Speakers	高添 修	日本マイクロソフト(株)
	竹内 裕治	シトリックス・システムズ・ジャパン(株)
	菊本 洋司	VIEWMUEA(株)

概要

Overview

俊敏性を期待されるビジネス環境の急激な変化にともない、「いつでも、どこでも、どんなデバイスでも仕事ができる環境の提供」は、もはや経営課題の一つとなってきています。「社員の働き方を変えることによって、企業価値を最大化させよう」とする動きが活発化しているのです。スマートデバイスの普及や通信環境の向上もあいまって、隙間時間の有効活用や、オフィス外からのオンラインミーティングへの参加も、難しいことではなくなってきました。そこで本セッションでは、こういったモバイルワークスペースを標榜し、クライアント仮想化市場を牽引する、業界トップ3ベンダーの最新テクノロジーについて共有します。さらに導入事例を交えながら、クライアント仮想化の“光”と“影”について、パネル形式で解説します。

受講対象者

Who Should Attend

・企業IT管理者、運用者、システムインテグレーター

C2-8

■ ネットワーク
■ システムインテグレーター

6月9日(火)16:30-18:00

アンダーレイの作り方 2015

Underlay Technologies 2015

講師

Chair/Speakers

Chair	本林 良太	日本電気(株)
Speakers	小宮 崇博	プロケード コミュニケーションズ システムズ(株)
	下川 洋平	シスコシステムズ(同)
	久保田 浩康	ジュニパーネットワークス(株)

概要

Overview

イーサネットファブリックを中心とするデータセンターネットワークは、まだまだ発展し続けています。たとえば上位のアプリケーションの面からは、OLTP(Online Transaction Processing)やOLAP(Online Analytical Processing)への対応力が求められてきています。くわえてこのところは、IoTも意識した、低遅延・リアルタイム性の「ストリームコンピューティング」への適応性も期待されています。また、仮想化されたオーバーレイのネットワークは基本、アンダーレイ(ファブリック)とは連携しません。しかし、「追加のネットワークサービスのタグ」として、「メタデータ」などを、「仮想化の世界」と「ファブリック」とで“共通言語”として理解できれば、一貫した[SLAの提供]など、さらに高度なネットワークサービスの可能性も生じてきます。さらに、データセンターを大規模なL3ベースで設計・運用する事例(L3ファブリック)も増えてきています。データセンターの深部にまでBGPやOSPFを拡張し、「拡張性」や「経路制御性」といったメリットを得ることで、オーバーレイトランネルの安定した制御を目指すものです。本セッションでは、これらアンダーレイ(ファブリック)周辺での新傾向にフォーカスをあて、「誰が、どういうユースケースで使っているのか/また使うべきなのか」を含め、実践的に議論していきます。

受講対象者

Who Should Attend

・データセンタを運用しているネットワーク/システムエンジニア・データセンタネットワークを
担当しているインテグレーターのセールス/システムエンジニア/マーケティング・ネットワーク機器の
調達を担当している企画経理担当者

C3-8

■ 情報システム

6月9日(火)16:30-18:00

ディスクの主役は交代間近? 押さえておきたいストレージ技術の近未来

Understanding the Latest Storage Technologies

講師

Chair/Speakers

Chair	田中 邦裕	さくらインターネット(株)
Speakers	田口 栄治	インテル(株)
	田中 陽一郎	(株)東芝

概要

Overview

増え続けるデータ需要を支えるデータセンターとネットワーク。その足元を支えるべく、要素技術は日々革新を続けています。これらの革新は、ITのインフラユーザ、そしてビジネスにどのように影響を与え、またそのロードマップをどのように描いているのでしょうか。そこで本セッションでは、「システム全体がどのような変化を迎えようとしているか」を概観しつつ、進化著しい最新ストレージ技術を解説します。

受講対象者

Who Should Attend

・ストレージに興味のあるシステム/アプリケーション開発者の方・ストレージの設計・実装・運用に
関わるインフラエンジニア/運用担当者の方・ストレージ機器の製造・販売に関わる企画/営業/マ
ーケティングの方

C4-8

■ セキュリティ

6月9日(火)16:30-18:00

クラウドセキュリティガイドラインの 国際化と事業者監査のこれから

Cloud Security Guidelines and their Implications to Security Assessment

講師

Chair/Speaker

Chair	高橋 正和	日本マイクロソフト(株)
Speaker	河野 省二	(株)ディアイティ

概要

Overview

経済産業省が策定した「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン」をベースに国際標準化された「ISO/IEC 27017」が、2015年10月に発行される予定です。また、情報セキュリティマネジメントの認証がセクター単位にできる枠組みの「ISO/IEC 27009」が策定される一方で、国内では日本セキュリティ監査協会が「クラウド情報セキュリティ管理基準」を適用した監査制度およびCSマークの運用を始めています。

受講対象者

Who Should Attend

・中小のクラウドサービスプロバイダー・クラウドを利用したサービス開発者・企業の情報
セキュリティを担当している方



NANO OPT Media

- Face to Face Forum Creating Company -

イベントスケジュール

2015年7月 >>> 2016年3月

医療 ICT コンファレンス 2015 [東京]

会場 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

会期 2015年
7月31日(金)(東京)

医療機関のデジタル化とクラウド化をテーマに、「集積されたデータの利活用」、「積極的なICTの利活用による情報共有」、「事務処理の向上、労働時間の短縮など効率化が進んだ事例」などの課題解決のヒントを来場の皆様と共有します。

IoT World Conference 2015 [東京]

会場 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

会期 2015年
7月31日(金)(東京)

Interop Tokyoでは1990年代から、「すべての人やモノがインターネットにつながることで実現する新しい世界」を提案し続けてきました。この約20年間、ネットワーク、ITの技術は大きな進化を遂げ、いよいよ本格的にすべてのモノがインターネットにつながる社会、IoT (Internet of Things) の時代が到来しようとしています。IoTで実現する世界とそこに生まれる新たなビジネスモデルを、展示やオープンステージを通じて体感いただけます。

ネット & スマートフォン・コマース 2015 [東京]

会場 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

会期 2015年
9月8日(火)(東京)

インターネット利用者の増加やITリテラシーの向上、ITの戦略的な利活用などが追い風となり、eコマース市場は国内に留まらずボーダーレスへと拡大を続けております。日本国内におけるeビジネス発展を支える最新環境整備状況、ネットの関連産業の最新のトレンドなどセミナーを通して新しいグローバル社会でのeビジネスのあり方を演出して参りたく存じます。

アプリケーションパフォーマンス 2015 [東京]

会場 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

会期 2015年
9月8日(火)(東京)

昨今ユーザー企業が競争力や従業員満足度を向上させるため仮想化やクラウドコンピューティングなど自社のITシステムに導入し、生産性の向上、クリティカルなサービスの実現、運用コストの削減と利益の向上などは、ITシステムを最適化することでその多くを解決することが可能になります。「Application Performance 2015」では、下記のようなパフォーマンスの問題を解決するためのITシステムの事例から、既存のITシステムをさらに改善し、そこに発生するアプリケーションパフォーマンスの低下を防ぎ、かつシステムの運用コストと、いかに管理者の負荷軽減するかという点を、CIOをはじめとする各企業のシステム管理者、運用管理者の皆様にお届けします。

E-mail Security Conference 2015 [東京]

会場 UDX カンファレンス

会期 2015年
10月9日(金)(東京)

企業の基盤ツールとして欠かす事のできないEmail。日々、その重要性は日々増している一方で、Emailに対する新たな脅威も加速し、増え続けてます。悪質化の度を増し続ける脅威に対して、企業がどのような対策を行うべきか? 日常の問題を解決するべく、最新のメールセキュリティ情報や対策を伝えていきます。[第10回目開催]

E-mail Security Conference 2015 [大阪]

会場 グランフロント大阪

会期 2015年
10月16日(金)(大阪)

企業の基盤ツールとして欠かす事のできないEmail。日々、その重要性は日々増している一方で、Emailに対する新たな脅威も加速し、増え続けてます。悪質化の度を増し続ける脅威に対して、企業がどのような対策を行うべきか? 日常の問題を解決するべく、最新のメールセキュリティ情報や対策を伝えていきます。[第10回目開催]

スマートコミュニティ東北 2015 [仙台]

会場 仙台国際センター

会期 2015年11月12日(火)~11月13日(水)(仙台)

「復興、復旧、再生へ」スマートコミュニティ創造につなぐ東北地方におけるスマートコミュニティ専門イベント。

Security Days 2016 [東京]

会場 JP タワー (東京 /KITTE)

会期 2016年
3月3日(木)~4日(金)

特に近年のサイバー攻撃/標的型攻撃に加え、メールの誤送信による情報漏洩の事故が絶えず、また、クラウド化、スマートデバイスなど、ワークスタイルが大きく変わり、これまで以上に強固な対策が必要となってきました。セキュリティ対策が再び重要視されている状況の中、本イベントではセキュリティに特化した専門イベントとしてユーザーへ最新の情報を提供していくイベントとして実施させていただきます。